

国際連携溶接計算科学研究拠点第15回講演会の報告

国際連携溶接計算科学研究拠点リーダー：麻寧緒

2023年3月3日（金）国際連携溶接計算科学研究拠点(CCWS)は、『溶接・接合構造の数値解析とDT/DXへの展開』というテーマで、第15回講演会を対面形式で開催しました。7名の講師の方々が基調講演や招待講演および研究報告を行い、64名の方がご参加くださいました。

本講演会の午前中の部で、大阪大学接合科学研究所・藤久保昌彦招へい教授が、「船体構造デジタルツインの研究開発とDXへの展開」について基調講演を行いました。続いて、大阪公立大学・生島一樹 准教授が「溶接・接合技術におけるデジタルツインの研究」に関して招待講演をしました。その後、物質材料研究機構・北野萌一主任研究員が「機械学習を用いた溶接熱源形状決定システムの構築」に関して招待講演をしました。

午後の部では、トヨタ自動車株式会社・小島茂樹様が、「CAE/機械学習技術を活用した車両構造と乗員安全の連成解析」について講演を行い、本田技研工業株式会社・西紳之介様が「Isogeometric解析による車両衝突強度の評価」に関して講演しました。その後、株式会社JSOL・功刀厚志様が、「産学連携による溶接組立変形の予測ソフトJWELD開発とDXへの展開」について講演しました。本講演会の最後には本研究拠点の麻寧緒教授が「DT/DXに向けた溶接・接合力学ソフト JWRIANの研究開発」について成果報告しました。

